

登録コード	L2533400	開講年度	2026				
担当教員	飯岡 詩朗			副担当			
授業科目	英語文学基幹演習						
英文授業名	Literature in English Basic Seminar						
授業タイトル	映画に見る人種、ジェンダー、セクシュアリティ：基礎編						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限
講義室	人文第2講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ、2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			英米の映画作品にあらわれる人種、ジェンダー、セクシュアリティの表象を分析・考察をとおして、自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力が身につく。			
	【2022年度以前加付対象】情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー			英米の映画作品にあらわれる人種、ジェンダー、セクシュアリティの表象を分析・考察をとおして、情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシーが身につく。			
	【2022年度以前加付対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			英米の映画作品にあらわれる人種、ジェンダー、セクシュアリティの表象を分析・考察をとおして、他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシーが身につく。			
	【2022年度以前加付対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力			英米の映画作品にあらわれる人種、ジェンダー、セクシュアリティの表象を分析・考察をとおして、グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力が身につく。			
	2026Lカリ、2025Lカリ、2024Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			英米の映画作品にあらわれる人種、ジェンダー、セクシュアリティの表象を分析・考察をとおして、人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につく。			
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	英米の映画作品にあらわれる人種、ジェンダー、セクシュアリティの表象を分析・考察する力を鍛え、作品研究のさまざまなアプローチ／方法を習得することをねらいとします。 また、英語で書かれた学術的文献の読解力を鍛えるとともに、毎回受講者に発表を課すことにより問題発見能力やプレゼンテーション力を育むことをねらいとします。 当たり前のものとして見過ごしがちな映画の細部からどのような意味が生成しうるのがかを正しく理解するとともに、映画作品にあらわれる人種、ジェンダー、セクシュアリティの表象を批判的に分析・考察する基礎的な力を育むために、映画にあらわれるさまざまな表象を分析・考察するアプローチ／方法について書かれた英語圏の文献を講読し、最終的には履修者がみずから選んだ作品にあらわれる表象を批判的に考察・分析することを目指していきます。 毎回数人が発表をし、その後で解説、ディスカッションを行います。						
授業計画	第1週：ガイダンス／オリエンテーション 第2週：映画の表現形式と表象 第3週：「白人」の表象1（アイルランド系；イタリア系） 第4週：「白人」の表象2（ユダヤ系；アラブ系） 第5週：アフリカ系アメリカ人の表象1（古典的ハリウッド） 第6週：アフリカ系アメリカ人の表象2（現代ハリウッド） 第7週：女性の表象1（古典的ハリウッド） 第8週：女性の表象2（フェミニズム映画理論） 第9週：男性の表象 第10週：1960年代以降のジェンダー表象 第11週：セクシュアリティの表象1（古典的ハリウッド） 第12週：セクシュアリティの表象2（1950年代以降） 第13週：まとめ 第14週：学生（2年次）による研究発表 第15週：学生（3年次以上）による研究発表＋授業アンケート 変更することがあります。						
成績評価の方法	発表や発言など授業への参与度（発表や発言）50％、期末レポート50％で総合的に評価します。 「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」により欠席し、補充を受けた場合を含み、欠席回数が5回を超えると、授業の達成目標に到達することができないため、単位が認定されません。						
成績評価の基準	授業への参与度については、以下の項目から評価を行います。 1）発表における分析・考察、文献読解が正確か；2）要約およびレジュメ作成が的確か；3）文献の批判的読解ができているか；4）授業で積極的に発言をしたか；5）授業での議論をリードできたか。以上5項目すべてを満たせば「卓越している」、4項目を満たせば「かなり上にある」、3項目を満たせば						

成績評価の基準	「やや上にある」、2項目しか満たせない場合は「水準にある」とします。 期末レポートについては、以下の項目から評価を行います。 1) 要項どおりにレポートを作成しているか；2) テーマの設定が的確か；3) 論理的・説得的に議論ができていないか；4) 先行研究との差異が明確か；5) 独創性があるか。以上5項目すべてを満たせば「卓越している」4項目を満たせば「かなり上にある」、3項目を満たせば「やや上にある」、2項目しか満たせない場合は「水準にある」とします。
事前事後学習の内容	全履修者が、まず何より文献をしっかりと読んでください。また、文献内で取り上げられている作品を積極的に鑑賞してください。 発表担当者は、授業前にレジュメや必要に応じてプレゼンテーション用のスライドなどを作成し、時間内に説得的な発表が行えるよう準備してください。 発表担当者以外の参加者は、授業前に各回で扱われる作品を鑑賞するとともに授業範囲のテキストを精読し疑問点を明確にするなどして、ディスカッションに備えてください。 授業後は、授業範囲内のテキストを再読、作品を再度鑑賞するとともに、新出の用語／単語や憶えていない用語／単語を定着させる努力をしてください。
履修上の注意	金曜3限開講の英語文学発展演習IIもあわせて履修することを推奨します。 初回到授業の進め方を説明しますので、履修希望者は初回の授業をかならず受講してください。 「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」により欠席し、補充を受けた場合を含み、欠席回数が5回を超えると、授業の達成目標に到達することができないため、単位が認定されません。 出席確認システムにより出席を取りますので、スマートフォン等のQRコード読取り端末を忘れず携帯し、授業開始時刻までに速やかに着席登録してください。QRコード読取り端末を忘れたり所持していない場合は、学生証持参で原則授業開始前に教員に申出てください。また、30分を超える遅刻は欠席としてあつかいます。 「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」による欠席については、規定の申出書による申し出があれば、学修の補充を行います。ただし、補充を受けた場合でも、欠席回数が5回を超えると、授業の達成目標に到達することができないため、単位が認定されません。
質問、相談への対応	原則、授業後に対応します。授業後以外の質問、相談は、直接研究室を訪問せず、事前にメールで連絡してください（実際の対応は研究室以外で行うことがあります）。メールアドレスは人文学部履修案内に掲載されています。
教科書	・Harry M. Benshoff, Sean Griffin. America on Film: Representing Race, Class, Gender, and Sexuality at the Movies. 3rd ed. Wiley, 2021. 変更することがあるため、授業開始後に購入してください。
参考書	・デヴィッド・ボードウェルほか『フィルム・アート』名古屋大学出版会, 2007. ・ウォーレン・バックランド『フィルムスタディーズ入門』晃洋書房, 2007. ・Timothy Corrigan. Short Guide to Writing about Film, 9th ed. Pearson, 2014. ・カレン・M・ゴックシクほか『映画で実践! アカデミック・ライティング』小鳥遊書房, 2019. ・長谷正人・中村秀之編『映画の政治学』青弓社, 2003. ・加藤幹郎『映画 視線のポリティクス』筑摩書房, 1996. ・加藤幹郎『映画とは何か』みすず書房, 2001. ・北野圭介『大人のための「ローマの休日」講義』平凡社, 2007. ・宮尾大輔『映画はネコである』平凡社, 2011. ・マイケル・ライアンほか『増補改訂版 Film Analysis 映画分析入門』フィルムアート社, 2025. ・塩田明彦『映画術 その演出はなぜ心をつかむのか』イースト・プレス, 2014. ・G・ターナー『フィルム・スタディーズ』水声社, 2012. その他、授業で紹介します。また必要に応じてプリントを配布します。